

Title	巻頭の辞
Author(s)	中嶋, 啓雄
Citation	国際公共政策研究. 2023, 28(1)
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/92587
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

巻頭の辞

本号（第 28 巻第 1 号）は、査読プロセスを経て受諾された論文 1 編を掲載しています。また、星野俊也先生のご退職を記念し、国際公共政策研究科関係者より先生の長年の貢献やご指導に対する心からの感謝と惜別の思いを込めて、星野先生のご略歴と研究業績一覧を掲載することとなりました。

星野先生は 1984 年 3 月に上智大学外国語学部英語学科を卒業され、1989 年 3 月に東京大学大学院総合文化研究科国際関係論専攻（博士課程）を単位取得退学されました。2003 年 3 月には大阪大学から博士号（国際公共政策）を取得されています。この間、1988 年 4 月から 1991 年 3 月まで、在アメリカ合衆国日本国大使館に専門調査員として勤務され、1991 年 5 月から 1998 年 3 月まで、財団法人日本国際問題研究所に研究員、および主任研究員として勤務されました。1998 年 4 月に大阪大学大学院国際公共政策研究科に助教授として採用され、2003 年 7 月には教授に昇進、2011 年 4 月からの 3 年間は研究科長を務められ、同研究科の発展に多大な貢献をされました。

研究については、国際安全保障政策、人間の安全保障、国連研究を専門とされ、68 冊の編著書、36 編を超える学術論文など、たくさんの業績を上げられました。主要業績としては、「人間の安全保障と日本の国際政策」、「国際平和回復政策の構想と実際—『多国間主義の危機』を超えて—」、「『保護する責任』と国際社会の正義」、そして監訳を担当した国連開発計画（UNDP）『2022 年特別報告書 人新世の脅威と人間の安全保障：さらなる連帯で立ち向かうとき』などが挙げられます。星野先生は緒方貞子元国連難民高等弁務官（のちに JICA 理事長）の上智大学教授時代の門下生であり、緒方先生から受け継いだ「人間の安全保障」概念については学術面での精緻化に努めると同時に、同概念が国連外交の現場に浸透するように尽力されました。

星野先生について特筆すべきは、OSIPP や大阪大学に対する多大な貢献、そして日本外交の実務への関わりです。前者については、2011 年 8 月に大阪大学総長補佐、2014 年 4 月には副学長、2015 年 8 月には大阪大学理事・副学長に就任され、長年にわたって大阪大学の国際化推進のために陣頭指揮を執ってこられました。この間、OSIPP の産官学連携にも力を尽くされ、稲盛財団寄附講座「グローバルな公共倫理とソーシャル・イノベーション」など、数々のプロジェクトを立ち上げてこられました。

後者については、二度の外務省への転籍出向を通じて日本外交に大きな貢献をされました。最初の外務省出向は 2006 年 8 月であり、国際連合日本政府代表部（ニューヨーク）の公使参事官に就任されました。国際連合第 61 回総会（2006 年）と第 62 回総会（2007 年）では日本政府代表顧問を務め、また、国連改革の一環として創設された平和構築委員会に深く関わるなど、日本の国連外交に大いに貢献されました。二度目の外務省出向は 2015 年 8 月であり、国際連合日本政府代表部（ニューヨーク）に大使・次席常駐代表として着任されました。「持続可能な開発目標（SDGs）」にかかわる経済的・社会的課題が主たる担当であり、2016 年に国連経済社会理事会で開催された「持続可能な開発のための科学技術イノベーションフォーラム（STI フォーラム）」で星野先生は共同議長に就任し、リーダーシップを発揮されました。

その他にも、星野先生は研究室では数多くの日本人学生や留学生を指導し、学生教育に力を注いでこられました。その結果、世界各地の大学、研究機関、外務省、国際組織で活躍する人材が数多く輩出されました。OSIPPの教員や学生の中には、外国に研究・調査に行く際に星野先生の人脈にお世話になった人がたくさんいます。また、社会貢献の面でも、専門誌にとどまらず、全国紙の新聞や一般向け雑誌にも多くの記事、コラム、エッセイを寄稿し、日本の多国間外交の理論と実践の双方を知るオピニオンリーダーとして、貴重な役割を果たしてこられました。

以上のように、星野先生は多くの留学生を含め学生に対する親身の指導、精力的な専門分野の研究、積極的な社会貢献、また地道な学内運営に多大な貢献を果たしてこられました。OSIPPの後進たる我々には星野先生がなされた貢献を受け継ぎ、さらに発展させることが求められますが、ぜひ星野先生には温かく見守っていただけたらと思います。

令和5年9月

大阪大学国際公共政策学会長
中嶋 啓雄